

①	原告(スローモーション) [11秒]	【ナレーション】 弁護側が証人として呼んだもう一人が、元少年に接見した精神科医の A 大学の X 教授。	A 大学 X 教授 (※画面左端に縦書き)
②	法廷イラスト(アップ)	【原告証言再現】 当時18歳だった、元少年の責任を問うのは難しい。	26日(木) 集中審理 (※画面左上)
③	法廷イラスト(引き)		X 教授 当時18歳だった 元少年の責任を問うのは難しい (※画面中央下部)
④	元少年の連行足元	【ナレーション】 X 教授は、「父親からの虐待、母親の自殺が影響し、精神の発達が極めて遅れている」として、責任能力を疑問視する証言を行った。	X 教授 父親からの虐待・母親の自殺が影響し 精神の発達に遅れ (※画面中央下部)
⑤	元少年(デ・フォーカス)		“責任能力を疑問視” (※画面中央下部)
⑥	法廷イラスト(原告の後姿にズームイン)	【ナレーション】 だが X 教授はこんな発言も…。 【原告証言再現】 山のような鑑定資料のコピーをもらったが、全部読むのは面倒くさかった	X 教授 山のような鑑定資料のコピーをもらったが (※画面中央下部) X 教授 全部読むのは面倒くさかった (※画面中央下部)
⑦	原告(スローモーション) [8秒]	【ナレーション】 元少年の供述調書などを細かく読んではいない、というのだ	供述調書などを細かく読んではいない (※画面中央下部)

※①ないし⑦の全体を通じて、「差し戻し審」は何処へ 大弁護団が新たな戦略」とのサイドスーパーが画面右上に表示される。